

43°54'42"N 144°10'21"E

PROTO OZORA

まちをまるごとプロトタイプ



Hokkaido,
Ozora Town

2022

大空高生たちの政策提言

PROTO OZORA

まちをまるごとプロトタイプ

大空町。

豊かな自然と美しい景色。

あたたかく、やさしさに包まれた小さな町。

この町も、日本中の多くの地域と同様に、
人口減少という課題に直面しています。

どうすれば、

住み続けたくなるんだろう。

通いたくなるんだろう。

立ち寄りたくなる場所になるんだろう。

そうだ、

いろんな垣根を飛び越えて

どんどんアイデアをカタチにしてみよう。

舞台は、大空町まるごと。

まちの未来のプロトタイプ、はじめます。





Ozora, Hokkaido

舞台は 北海道大空町

北海道・道東にある町、大空町。
主要な空港からワンフライト、自然豊かな環境に恵まれ、
人気の観光地とのハブ機能を担える場所にある町。
しかし、近年は過疎化が進み、現在の人口は6,700人を
下回っている。(2023年4月時点)

このままでは、いけない。
でも、どうすればいいんだろう。

What is PROTO OZORA?

まちの未来をプロトタイプ



2021年11月、思いがけない出会いがあった。
クリエイティブエージェンシーR/GA Tokyo。
北海道の町と、グローバル企業がつながった。

そこから、一気に動き出した。

何ができるか、何をすべきか。たくさん話し合った。
でも、結局、試してみないと、何が正解かわからない。

いいと思ったことをやってみる、そんな町にしたい。
「まちをまるごとプロトタイプ」というコンセプトが生まれた。

さまざまなパートナーと手を取り合って、
町を前進させる取り組みをどんどん試していく。

PROTO OZORA(プロトオゾラ)
まだ見ぬまちの未来をカタチにしていくプロジェクト。

Partner

北海道大空高等学校



2022年9月、大空高校を訪れた。
この日が、高校生との初顔合わせ。
「何が始まるの?」といった訝しげな表情。
めんどくさいと思われないかな。
やりたいって思ってもらえるといいな。

不安と期待を抱えながら、みんなでやっていきたいこと、
一緒に考えたいテーマを伝えた。

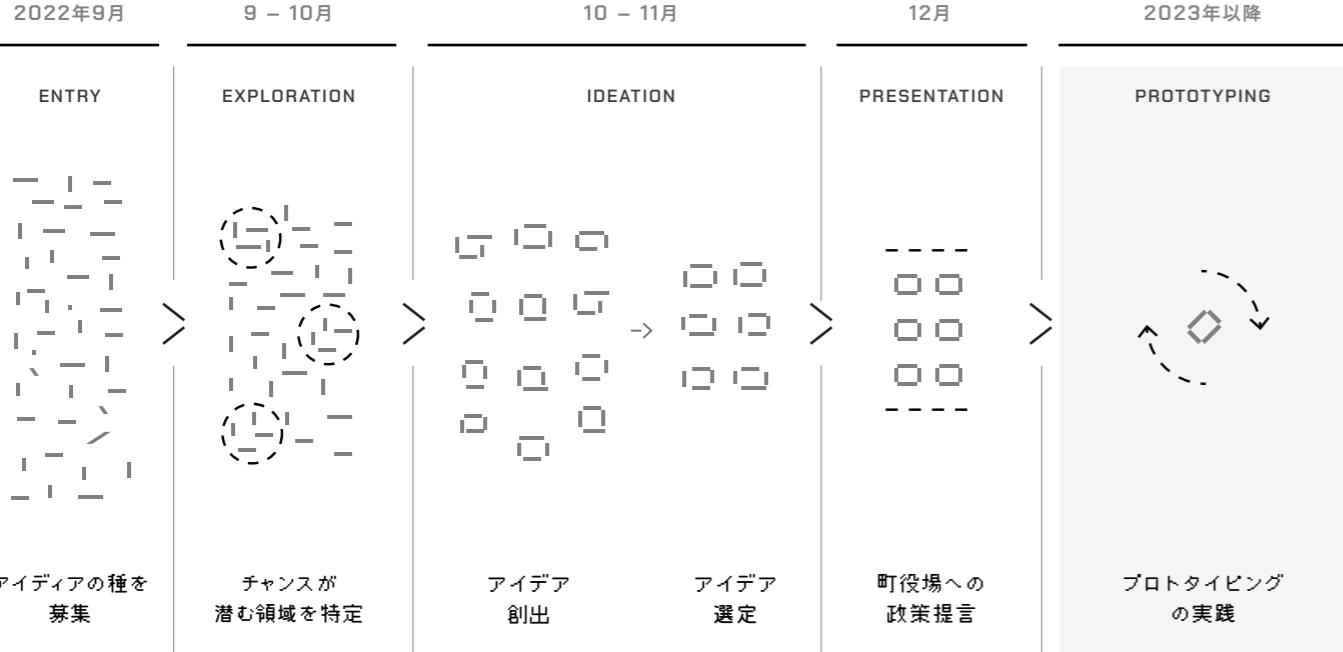
大空町に住む人と町外に住む人。

どうすればつながりが生まれるだろうか。



Prototyping Process

どのようにカタチしていくか



Work Session

学校では教えてくれないアイディアづくり

プロジェクトへの参画に手を上げたのは、
大空高校の1、2年生たち。

授業後の時間を活用して、毎週開催されるワークセッション。
グループに分かれ、オンラインツールを駆使して大空町と東京を繋ぐ。

大空町ってどんな町?
あなたにとっての理想の町とは?
どんな切り口があるだろうか?

盛り上がりすぎて、脱線したり。
行き詰まって、一歩後退したり。
それでも、少しづつカタチになっていった。

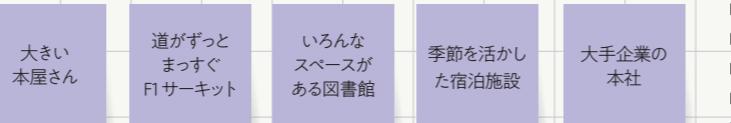
学校では教えてくれないアイディアづくりに、高校生も大人も大奮闘。

大空町に全く新しい職業が誕生しました。それはどんな職業ですか?



従来の、職業、世代、役割などをぶっ壊す!

大空町に好きな施設を建てることができます。何を建てますか?

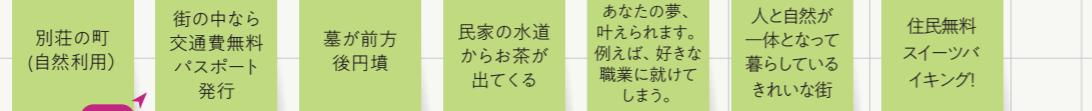


「最先端な田舎」を目指してみる!

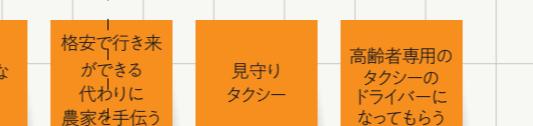


名前負けしない町になるには、何ができるのか?

どんな町の売りを言われたら「住んでみたいかも!」と思いますか?

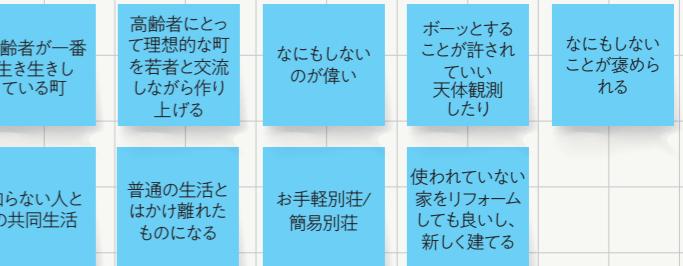


GIVE & TAKEを成立させて、町に人を呼ぶには?



「自然が多く、空気が澄んでいる」ことを、サービス化することは可能?

「何もない」ことを、売りにすることができないか?



風景に絡めたサービスや仕事って、何がある?



Proposal

まちの未来のカタチを語り合う



2022年12月、政策提言当日。

町長、町議員、地元・地域外の企業、
生徒の保護者、近隣地域の学校関係者など、
100名を超える皆さんにお集まりいただいた。

直前まで磨き上げられた、7つのアイディア。

大人でも緊張するであろう場で、
堂々と、自分たちの想いを伝えている。
真剣ながら笑いもあり、
会場は熱気に包まれていた。

まちの未来のカタチについて
世代を超えたそれぞれの視点から
意見を交わす姿に、大きな希望を感じた。

What if

もしも大空町でこんなことできたら。



自然のリズムで働けたなら。

農業をゲームのように楽しめたなら。

旅する別荘を持つことができたら。

まちがまるごと学舎になつたら。

生きがいをずっと持ち続けられたなら。

遊びの天才になれたなら。

超絶青春できる時間を過ごせたら。

Voices

あたたかい声援を受けて

MESSAGE BOARD

メッセージボード

PROTO OZORA

まちをまるごとプロトタイプ

この日。
確かに一步を踏み出した。

今日がきっかけとなって、
応援してくれる仲間が増えた。

喜びとともに、背筋が伸びる思いがした。

アイディアだけでは終わらせられない。

「まちをまるごとプロトタイプ」
まだ始まったばかり。

一つでも多く実現できるように
行政マンとして取り組んでいきたいです。」

少額ですが、出資したいです！
実現に向けてリソースをつけましょう！」

町の課題に向き合っている姿に感動。
町民として協力したいと感じました！」

Congratulations!
ひとつでも具体化に向けて進めて下さい！」

高校生のみなさんのプレゼンに感動!!
ぜひ実践してほしい！」

町民の生の声を実現する機会があれば
ぜひ協力したい。」

感動しました！
地元の高校生から提案なのでリアル。」

Our Future

まちはどこに向かうのか



大空高校 校長
大辻 雄介

「一つでも社会実装をすることが大事」

子供たち自身が、終わってみても、またやりたいって言ってるぐらいなので、本当に楽しかったんだろうなと思います。直前までどう良くできるかを考えて、控え室に茶化して入れない雰囲気だなっていう、それこそベンチャーのピッチか何かがこれから行われるような緊張感があったのがすごく印象に残っています。

まず一つでも社会実装を本当にすることが大事だなど。子供たちにとってそれが一番の手応えになると思うんですよ。自分の考えたことが実現するってこの上ない喜びであるはずなのです。

今回の政策提言は、町に新たな視点と可能性を示してくれた。もちろん、実現までの道のりは容易ではないだろう。それでも、町として何ができるのかを考え続け、ワクワクする未来を迎えにいきたい。



産業能率大学経営学部教授
藤岡 慎二

「大空高校のつながりを活かして実現して欲しい」

大空高校は、地域とつながり、地域外ともつながり、企業ともつながっています。うまく、いろんな資産・資源を使い、人の手を使って実現してほしいです。

なぜ、そこに目を付けたのか、なぜ興味を持ったのか、その理由や想いを元に突き詰めてほしいです。それがストーリーになっていくことでしょう。

総じて、大人を本当に悩ませた、そんなプレゼンをしてくれたことはとても良かったです。



大空町 町長
松川 一正

「町民みんなで政策の実現を模索していきたい」

高校生の皆さんの政策提言を直接聞き、とても感動しました。

役場や行政中心だと、関係人口を創出するといつてもアイデアに限界があります。こうして高校生が中心となって柔軟な発想で政策案を生みだし、そこにいろんな方が関わっていく。このこと自体が、関係人口をつくる取り組みであり、町の活性につながるものだと感じます。

大空町では、「大空に 人・花・心 育むまち」という宣言を掲げ、教育を「人」・産業を「花」・心身の健康を「心」という言葉に込め、澄み渡る大空のもと、沢山の幸せを育むことをを目指し、まちづくりを行っています。特に、大空高校は、地域の未来を創る人を育てたいと創設しました。このように、地域の課題を解消するために、生徒たち自らがアイデアをつくり、町の人々の心を動かす姿を見ることができたことを嬉しく思います。

今後については、提案いただいた政策の社会実装に向け、企業などとも協働しながら、どう実現できるのか考える必要があります。押しつけのまちづくりではなく、町民みんなで作り上げていくものだと思います。

Ideas

大空町の関係人口を増やそう

どうすれば、
住み続けたくなるんだろう。
通いたくなるんだろう。
立ち寄りたくなる場所になるんだろう。

この問い合わせに向き合い生まれた
7つのアイディア。

大空町の魅力や利点を生かしながら
この町の関係人口を増やすための
仕組みやサービスを提案した。



Nature Office

働きながらストレスフリー

自然のリズムに合わせて、働くことができるシェアオフィス。

オフィスは、湖のほとり、広大な牧草地、畑の真ん中などに点在し、気分に合わせて好きなオフィスで働くことができる。太陽が沈むとオフィスの機能は停止するので強制退社。ストレスをトラッキングして、空調の調整や休憩のタイミングを教えてくれる。

残業はできない。無理もできない。気分転換し放題。
人間らしい働き方は、きっとここにある。

どう関係人口を作るか？

都会にある企業やビジネスマンのワーケーションとしてアプローチし、自然のリズムに合わせた働き方を支援する。

Idea by
栗木 花 呉玉 優奈 佐藤 美海 高場 大晟 田巻 紹人 米山 七渚



My Moving Villa

旅をしよう、自分好みの別荘と。

大空町を巡るのにぴったりの、移動式別荘。

中古車販売業者と提携し、使わなくなった車を集め、安価で提供。キャンピングカーのオーナーになって、自分好みにDIYしたり、使っていない時には、誰かに貸し出すことも。

RVパークがある拠点は、美しい景色を思う存分楽しめる一等地。どんな景色のなかで、過ごしてみたいですか。

どう関係人口を作るか?

旅好き、多拠点生活に憧れる、でもコスパは重視したい人に向けて、リーズナブルなサービスを提供する。

Idea by
稻川円 横本月咲 太田咲希 永森湊 田岡諒 長谷昌樹 山本空羽



大空あそ部まな部

遊びの天才になろう

自然の中で遊びながら、生きる技術も学べちゃう、町公認の部活動「大空あそ部まな部」。

全国どこにいても入部可能。部員になると、町の中にある秘密基地へのアクセス方法を教えてもらえ、季節折々の自然遊び体験イベントに参加できる。

集まれ、遊びの天才たち。

どう関係人口を作るか?

自然の中で過ごしたい人 / 自然の中で使える技術を身につけたい人に有益なアクティビティを実施、発信していく。

Idea by
栗木花 児玉優奈 佐藤茉海 高場大晟 田巻紹人 米山七渚



廃校ホテル -オハル-

青春付き宿泊プラン予約受付中

子どもの頃、なぜか憧れた「学校でのお泊まり」。
そんなノスタルジーに浸れる廃校ホテルをオープン。

学校の畠から野菜を採ったり、大自然の中でカラオケしたり、
家族連れなら、子どもと思いっきり校庭を走り回って、
肝試し、BBQ、焚き火など、全力で楽しみ放題。

夜空に広がる星空の下、あの頃の気持ちを思い出そう。

どう関係人口を作るか?

大空町に少ない宿泊施設を増やすことで
雇用を生み、卒業生など町を離れた人たちに
戻ってくるきっかけを提供する。

Idea by
稻川円 横木月咲 太田咲希 永森湊 田岡諒 長谷昌樹 山本空羽



ファームケーション

ゲーム感覚で楽しく農業体験

農家の手伝いをするとレベルアップ。
農業をゲーム感覚で体験して学ぶことができるサービス。

人手や後継者に困っている農家がヘルプを依頼。
エントリーしてお手伝いすると、野菜をゲットしたり、
より難易度が高いミッションにチャレンジ可能に。

農業にハマっちゃう人が続出!?

どう関係人口を作るか?

二拠点生活や移住を検討している人に
対して、農業スキル向上+移住体験の
機会を提供する。

Idea by
篠崎瞳 関根琴 萩原桂 平山心結 水野結菜 村井雅治



大空教室

町がまるごと学舎に

大空町の教育費にかける割合は、なんと世界トップクラス(2022年12月現在)。
そんな大空町の学舎は、学校という枠を飛び越えて、町まるごと。

町の住民や訪問者が、先生や生徒になって、
言語、デザイン、スポーツ、農業技術、しじみ採りなど、
自由なテーマで授業を実施。
授業に参加すると、宿泊補助や次回の授業への参加費補助などの特典がもらえる。

さあ、大空町に学びに行こう。教えに行こう。

どう関係人口を作るか?

住民と訪問者の関係を「お互いに学び合う」
関係に変えることで、町を訪れる新たな目的
と交流の機会を作っていく。

Idea by
旭亮介 河原有希 佐竹孜穂 須田航海 松浦竜斗 横尾竜飛 米倉啓太

イキガイアカデミー

「生きがい」のマッチング

知識や経験豊富な高齢者と、
それらを受け継ぎたい人たちをつなぐプラットフォーム。

“伝統工芸の職人”と“ものづくりを始めたい人”
“海を知り尽くした遊び人”と“アウトドアを仕事にしたい人”
“自然の営みに寄り添う農家”と“趣味で家庭菜園を始めたい人”

「魅力あるスキル」を伝える、探せる。
「生きがい」は、次の世代につながっていく。

どう関係人口を作るか?

提供できるスキルを持った人を優遇する仕組み
を用意することで、町内外の人の交流を増やす
機会を作っていく。

Idea by
篠崎瞳 関根琴 萩原桂 平山心結 水野結菜 村井雅治





2022年12月11日(日)
大空町役場 議事堂文化ホール

A Word From Our Team

あとがき

様々な地域から集まった高校生と
クリエイティブ企業のメンバーが町の未来を考え、
町長に政策提言する。

アイディアづくりの2か月半、どんどんと加速して、
当日の会場は観客を巻き込んで熱気にあふれていました。

大空町は、2006年に新しい町として出発し、
人生でいうと高校2年生の年になりました。

町もまだまだプロトタイピングの真っ只中。
アイディアの社会実装に向けて、
今後多くの皆さんと関わりながら、
一緒に進めていきたいと考えております。

このプロジェクトに興味を持っていただけたら、
ぜひ、大空町にご連絡ください。

PROTO OZORAプロジェクトメンバー 一同

編集部メンバー

【移住定住支援室】

秋葉 裕康、阿部 亜美、山本 由美子

【R/GA Tokyo Inc.】

安念 有加、工藤 成、中出 雅也、Charles Lai

【Ozora High School Internship Members】

稻川 円、榎本月咲、田岡 諒、高場 大晟、長谷 昌樹、横尾 竜飛

【Special Thanks】

青柳 新吾、大辻 雄介、木村 香織、嶋田 敬一郎、新竹 美奈子、
鈴木 真吾、半田 博愛、Hannah Parsons、Nate Cover、Sibyl Xian



PROTO OZORA

まちをまるごとプロトタイプ

一緒にまちをプロトタイピングする仲間を募集中です。
詳しくは下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ：

大空町役場 移住・定住支援室
TEL：0152-74-2111（内線 340）
FAX：0152-74-3643

〒099-2392
北海道網走郡大空町
女満別西3条4丁目1番1号



ozoralife.com/proto-ozora

発行日：2023年7月

発行元：大空町役場 移住・定住支援室